
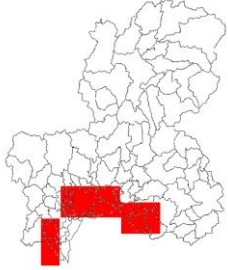


ナガバノイタチシダ	<i>Dryopteris sparsa</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) Kuntze	絶滅危惧Ⅱ類
		オシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村瀬正成) 
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は斜上、葉柄は茶褐色を帯びる。葉身は長楕円形で2-3回羽状複生。小羽片の辺はやや裏側に折れ曲がる。	
生態的特徴	山林中の日当たりのよい崖地や斜面に生育する。海岸近くに多く内陸には稀。	
分布状況	本州(千葉県以西)から沖縄に分布する。岐阜県では県南西部と県南中部の標高の低い場所に分布するが生育地は少ない。	
減少要因	山林の開発による生育地の消失、および山林の放置による荒廃で近年生育環境が大きく変化している。	
保全対策	生育地の開発防止と保全、および山林の整備や除伐など生育環境を維持する活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成